

2022年度 事業報告書

2022年度は、前年国内において新型コロナの第5波を発生させたデルタ株からの変異種「オミクロン株」が爆発的な感染力で猛威を振るい、1月～5月の第6波(BA.1)、7月～9月の第7波(BA.5)、10月～2月の第8波(BA.5)へと感染拡大の大波を形成し、国内において過去最多となる感染者数や死者数を記録する状況となった。

栄光会ではこれまで、新型コロナの感染防止について法人をあげて様々な感染防止対策や取組みを講じ、施設内において一人の感染者も発生させることなく事業運営を継続させてきたが、遂に過去最強の感染力を有するオミクロン株によって4つのコロナクラスター発生に見舞われた。栄光会で初となるコロナクラスターの発生はデイサービスの利用者からの感染拡大で、感染は同デイサービスの利用者や職員だけに止まらず同センターを利用して併設のサ高住の入居者やその入居者の対応に当たったヘルパーステーションの職員にも広がり7月13日の発生から7月30日の終息までに同施設の利用者・入居者23名と職員12名、合計35名の感染者が発生。これにより同デイサービスセンターは14営業日を休止し、更なる感染拡大を防止するため併設の短期入所(ショートステイ)は7日間に渡って入所の受入れを中止した。2つ目のクラスターは東旺苑において発生。いち早く居室毎にゾーニングを行うなど感染拡大防止に努めたが多床室構造の影響や協力病院の感染者受入れ困難などが感染拡大に大きく影響して7月18日の発生から8月10日の終息までに長期入居者45名と短期利用者3名及び職員23名、合計71名が感染するメガクラスターとなった。これによって、欠員となっていた長期入居者の受入れができず空床が増加、短期入所も7月19日から8月14日まで入所の受入れを中止。更にはクラスター終息後も、この間の隔離対応による生活環境の変化やケアの変更などの影響を受けて入居者のADL低下や認知症が進行し入院も急増した。この二つのクラスターでの経験と学びを活かし、9月2日から9月16日にかけてきよみず苑特養(さくらユニット)において発生した3つ目のクラスターでは同ユニット内の入居者4名と職員2名に陽性者が出たものの、他の特養ユニットや併設する他の事業所への感染拡大は防ぐことができた。最後の4つ目のクラスターは、利用者のウイルス持ち込みが原因できよみず苑短期入所ユニットにおいて11月20日から12月4日にかけて発生。短期入所の受入れを10日間中止するとともに同ユニット内での個室対応や専属夜勤職員の配置などを実施した結果、感染者は同ユニットの利用者7名と職員2名に止まり、3つ目のクラスターと同様に他への感染拡大を防止することができた。

コロナ禍3年目の本年度、事業運営に関しては、概ね事業計画を達成。前年度と同様に行事は個々の入居者や利用者へ寄り添った小規模なレクリエーション等を企画し、実施した行事などは各施設のホームページやSNS、写真便り等を通じて積極的に家族や外部に情報を発信した。市内のコロナの感染拡大で前年度から延期となっていた東旺苑ときよみず苑在宅部(デイサービス・ヘルパーステーション・ケアプランセンター)の介護福祉サービス第三者評価は4月に受診が完了し、特養部においてはユニットケア施設管理者研修とユニットリーダー研修を受講した。コロナ禍での閉鎖的環境によるサービス低下を防止するための施設内研修(接遇、認知症ケア、身体介護)にも注力し、他の研修実施と併せて職員のスキルアップと利用者へのサービス向上に繋げた。職員処遇の向上について、介護職員処遇改善支援補助金及び介護職員等ベースアップ等支援加算を基本原資とした「処遇改善支援手当」を栄光会として新たに創設し毎月の手当として職員に支給。また1月には法人で第2回目の開催となる永年勤続職員表彰を実施し4名の職員を表彰した。

一方、事業実績に関しては、事業所内でのコロナクラスター発生の影響を受けた東旺苑(長期入所・短期入所)ときよみず苑短期入所およびデイサービスが前年度稼働率に及ばなかったが、その他の事業所については前年度を上回る稼働実績となった。特にケアプランセンターについては前年度比・約28%の実績増加によりきよみず苑開設以来初めて単年度収支の黒字転換を果たした。

施設整備と支出関係では、4月に東旺苑の照明機器LED化工事を完了し、9月にはリース契約11年を迎えた軽自動車(福祉車両)を更新せず新車購入で入替えを行った。2022年2月に発生したロシアのウクライナ進攻による世界的な原油やエネルギー価格の高騰に加え、円安による国内物価の上昇も相まって、電気やガスなどの光熱費や石油を原料とする介護用品や衛生材料費の支出が大きく増加した。しかしながら、人件費に関しては前年度に実施した派遣職員比率の最小化の取組が功を奏し派遣職員費を前年度より約60%減となる1,360万円を削減すると同時に派遣職員から正規職員への登用などによりキャリアアップ助成金228万円を受給した。

2022年度は、栄光会が初めて経験した4つのコロナクラスターによる事業の一時中止や終息までの施設内のゾーニング、介護や食事の提供方法の変更、職員の勤務体制の維持、さらにはエネルギー高や物価上昇による経費の増加などへの対応、様々な問題や困難に直面したが、それらを栄光会の強みである団結力と組織力で取り組み、多くの成果を上げ、最終的に本年度も単年度収支において前年度を1,800万円超を上回る4,900万円強の黒字を確保した。

1. 特養サービス部

2022年度は、新型コロナウイルス感染症対策として昨年度から引き続き各事業所での家族面会を看取り等を除き全面的に禁止。また対応マニュアルの見直しを随時実施しコロナ感染症発生時への対応について職員周知をはかり、ワクチン接種や抗原検査の頻回実施に取り組んでいたが、東旺苑において、7月に職員・入居者を含む計71名の感染者が発生する大規模なクラスター感染を起こしてしまった。続く9月にはきよみず苑特養において、職員・入居者を含む計6名の感染が発生したが、東旺苑でのクラスター感染の経験を活かし、迅速な対応を実施し感染拡大は防ぐ事ができた。以降については、施設内感染の経験を活かし、更に感染予防対策を徹底し事業所におけるクラスター感染の再発は防止する事ができた。

人員について、一定の職員定着が見込む事ができ、派遣職員0名を継続。また事業計画に挙げた「認知症ケア」、「身体介護技術」、「接遇マナー」の向上を目指し、施設内研修を通じて計画的な取り組みを継続。10月には介護課において各職員のスキルアップ・キャリアアップを目的とした大幅な定期人事異動を実施し体制の見直しを行った。また、コロナ禍における閉鎖的環境の中、積極的な施設内の情報発信の一環として、Instagramでの発信を継続した。

➤ 特別養護老人ホーム 東旺苑（従来型・広域型・本体特養）

2022年度は、引き続き介護報酬加算の継続算定に努め、入所申込者を随時受け付け定期的な入所判定会議を行うことにより円滑な入退所に努めたが、8月については退居が続き入居案内に遅れが生じてしまった。

コロナ禍の影響を鑑み、ボランティアの受け入れや外出を伴うレクリエーションの実施は継続中止。毎年5月に実施している緑旺祭は感染対策を十分に実施した上で開催し、敬老祝賀会についても、感染対応に配慮しコロナ禍でもできる形を模索し実施。都度SNSの活用や毎月、東旺苑日和を発行し発信に努めた。

稼働面について入居者の重度化は見られるが、特にクラスター感染収束後8月の入院日数は増加した。

介護課においては、継続的に老朽化した設備や備品の修理・購入を積極的に実施し環境の改善に努め、また課題である認知症ケア・接遇マナーの向上に向け複数回にわたる勉強会を実施しサービスの向上に努めた。

1 入居の状況（2022年度）

	入居者数（人）			満床時 延人数（人）	延人数 （人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	10	41	51	1,500	1,487	99.1
5月	10	41	51	1,550	1,531	98.8
6月	10	40	50	1,500	1,465	97.7
7月	10	40	50	1,550	1,482	95.6
8月	10	40	50	1,550	1,349	87.0
9月	12	40	52	1,500	1,424	94.9
10月	9	41	50	1,550	1,510	97.4
11月	8	42	50	1,500	1,471	98.1
12月	8	42	50	1,550	1,511	97.5
1月	8	44	52	1,550	1,476	95.2
2月	8	43	51	1,400	1,376	98.3
3月	8	42	50	1,550	1,528	98.6
合計	111	496	607	18,250	17,610	96.5
平均	9.25	41.3	50.6			

参考 2021年度 年間合計充足率 **97.2%**

2 入院の状況（2022年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	2	2	4	6	8	5	1	1	2	5	1	2	39
延人日（人日）	13	19	35	62	151	52	25	22	34	51	4	19	487

参考 2021年度 入院者数延べ **34** 人、延べ日数は **391** 人日

3 入・退居の状況 (2022年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
8	2	2	0	12	2	6	4	1	13

参考 2021年度の入居は17件、退居は16件、うち入院中退居は6件

4 入居者の介護度 (2022年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度3	11	11	11	11	14	16	15	14	14	15	15	16	26.9%
介護度4	18	18	17	17	17	17	14	15	15	15	14	13	31.3%
介護度5	22	22	22	22	19	19	21	21	21	22	22	21	41.8%
平均	4.22	4.22	4.22	4.22	4.10	4.06	4.12	4.14	4.14	4.13	4.14	4.10	4.15

参考 2021年度の介護度は1から0%・0%・22.8%・31.9%・45.4% 平均介護度は、4.23

5 入居者の年齢構成 (2022年度末現在)

	～64歳	65歳～	70歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	4	7	22	8	6	3	50
割合	0%	0%	8%	14%	44%	16%	12%	6%	100%

2022年度末の平均年齢は、89.0歳

参考 2021年度末の平均年齢は、88.1歳

6 入居者の入居期間 (2022年度末現在)

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	9	11	11	3	3	2	5	
割合	18%	22%	22%	6%	6%	4%	10%	
	7年～	8年～	9年～	10年～	15年～	20年～	25年～	計
人数	2	1	1	2	0	0	0	50
割合	4%	2%	2%	4%	0%	0%	0%	100%

7 保険者の状況 (2022年度末現在)

	山科区	伏見区	東山区	南区	北区	右京区	中京区	左京区	計
人数	34	7	4	1	1	1	1	1	50
割合	68%	14%	8%	2%	2%	2%	2%	2%	100%

➤ 東旺苑 短期入所（ショートステイ）

2022年度において、継続利用者の施設入所や逝去を受け、新規利用者等の受入を積極的に行い23名の新規利用者の受け入れを実施、うち6名は継続利用に繋げることができた。7月のコロナ感染症のクラスター感染発生時には、受け入れ中の利用者については、居宅の担当ケアマネや家族様の協力もあり、感染が収束するまでの間、施設対応を継続する事となり、結果として大幅な稼働率の低下は避ける事ができた。下半期について、一部制限等を設けた上、十分な感染予防対策を実施し安全且つ積極的な事業運営に努めた。

1 利用の状況（2022年度）

	利用者数（人）			満床時延人数 （人）	延人数 （人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4月	3	8	11	120	152	126.7
5月	2	8	10	124	145	116.9
6月	3	7	10	120	124	103.3
7月	2	10	12	124	113	91.1
8月	3	8	11	124	115	92.7
9月	2	9	11	120	145	120.8
10月	4	5	9	124	117	94.4
11月	3	7	10	120	140	116.7
12月	1	6	7	124	133	107.3
1月	3	8	11	124	114	91.9
2月	4	6	10	112	134	119.6
3月	2	9	11	124	123	99.2
合計	15	50	65	1,460	1,555	
平均	2.5	8.3	10.8		129.6	106.5

参考 2021年度の新規利用者は24名、平均利用者数は12名、稼働率は121.8%

2 介護度別の延利用者数（2022年度） (人)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均介護度
4月	0	16	88	48	0	152	3.3
5月	0	17	78	47	3	145	3.4
6月	10	16	74	24	0	124	2.9
7月	8	0	101	4	0	113	2.7
8月	0	26	71	18	0	115	2.9
9月	0	39	98	8	0	145	2.8
10月	0	0	102	7	8	117	3.3
11月	4	0	107	29	0	140	3.1
12月	0	0	113	7	0	120	3.1
1月	4	3	94	13	0	114	2.9
2月	9	8	84	27	6	134	2.9
3月	26	11	61	19	6	123	2.8
合計	61	136	1,071	251	23	1,542	
平均	5	11.3	89.2	20.9	1.9	128.5	3.01

参考 2021年度の平均介護度3.03 合計延利用者数1,778人

3 利用者の年齢構成（2022年度末利用者実績）

	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	計
人数	1	0	2	0	3	3	0	2	11
割合	9.4%	0%	18.1%	0%	27.2%	27.2%	0%	18.1%	100%

○研修受講状況（2022年度）

施設内研修

4月	役付職員研修（2022年度 事業計画と人材育成等について） 高齢者虐待防止・身体的拘束適正化について	法人 施設内
5月	リスクマネジメント研修	施設内
6月	認知症ケアと接遇について 褥瘡勉強会	施設内
7月	脱水症勉強会	施設内
8月	高齢者虐待防止・身体的拘束適正化 *クラスター感染により延期	施設内
9月	身体介護技術について	施設内
10月	身体介護技術について ノロウイルス・インフルエンザについて 普通救命講習、自衛消防訓練（夜間想定）	施設内
11月	緊急時対応研修	施設内
12月	身体的拘束適正化研修	施設内
2月	法令遵守と高齢者権利擁護 BCP机上訓練	施設内
3月	ハラスメント研修、認知症ケア研修、自衛消防訓練（日中想定）	施設内

施設外研修

5月	京都市感染症対策実地研修
6月	高齢者虐待防止研修（ビデオ）

○行事実施状況（2022年度）

4月	不在者投票（府知事選）・第三者評価受診・全館LED工事・誕生日レク
5月	緑旺祭・誕生日レク・生け花クラブ
6月	おやつレク・誕生日レク・七夕飾り付け
7月	映画レク・不在者投票（参議院）・生け花クラブ・七夕レク
8月	*施設内クラスター発生により全て中止（7/18～8/15）
9月	敬老レク・入居者レントゲン検査・誕生日レク
10月	京都市監査実地指導・おやつレク・誕生日レク
11月	食事レク・おやつレク・誕生日レク・生け花クラブ
12月	誕生日レク・クリスマス会・ピアホールレク・終い湯
1月	誕生日レク・どんど焼き・おやつレク・永年勤続職員表彰式
2月	節分レク・誕生日レク
3月	おやつレク・花見レク・誕生日レク

○介護課

- ①サービスの質の向上
年度を通して、認知症ケア・接遇マナー・身体介護技術の向上を目的とし、研修や勉強会を少人数・複数回の実施をしてきたが、未だに理解の薄い職員や意識の低い職員が見られる。介護課全体の重要課題として次年度も取り組みを継続する。
- ②家族様との信頼関係の構築
長期間にわたるコロナ禍対応により、家族様とのコミュニケーションも希薄傾向になっているため、全利用者様の家族様へ年賀状を作成し送付するなどの実施に努めた。
- ③働きやすい職場環境の実現
一定の離職率の低下は実施する事ができた。

○支援課（ケアマネジメント）

支援課として京都府介護支援専門員会が推進する京都式ケアプラン点検ガイドラインに基づきながら、個々の利用者様における多方面からの課題に対し、多職種間の連携を図りながら速やかに施設サービス計画の見直しを行い適切な支援提供に結び付けた。また、サービス進行管理表ではサービス計画者や介護保険有効期間等に不備が発生しないように心がけた。

○栄養管理課

- ①栄養マネジメント
新規入所者のカンファレンスに関して、コロナ禍の影響もあり家族様や本人の参加を積極的に実施する事ができなかつた為、家族来苑時に現状を伝えるように努めた。また栄養リスク別にモニタリングを実施し、多職種連携を心掛け、高リスクの利用者については月 2 回の体重測定と褥瘡リスクの把握を実施し入居者の状態把握に努めた。
- ②給食について
毎月定期に給食委員会を開催し、残食の検証や食事提供に係る改善点を検討し共有するように努めた。また面前提供の機会を活用し、より良い食事環境の実現に取り組んだ。
- ③その他
毎月のお誕生日レクとおやつレクを継続する事が出来た。

○健康管理課

- ①嘱託医との連携に努める事で利用者の異常の早期発見・早期対応を継続的に取り組んでいるが、入院者数は前年度とほぼ変わらない反面、入院日数が増加している事で利用者の高齢化・重症化が顕著であると考えられる。
- ②感染症に関して、クラスター感染発生時、率先してレッドゾーン及び陽性者対応を実施。医療職として、模範となるべく感染防護・拡大防止に努める事ができた。
- ③研修及び委員会を通して服薬マニュアル、感染症マニュアル、緊急時対応表の随時見直しを行った。

➤ 介護老人福祉施設 きよみず苑（ユニット型・地域密着型・サテライト特養）

2022年度において、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設を開放した催いは継続中止。地域密着型事業所としての運営推進会議は、感染対策の一環として対面開催はせず2ヶ月に一度、計6回の報告書類を作成しそれを以て開催とした。

例年実施しているすみれフェス・敬老祝賀会を始めとした行事の実施に際して、各ユニット単位でのレクリエーションとして小規模で実施する事で結果として、年間を通してより入居者様一人一人に寄り添った形での実施に努めた。

施設内研修等について、事業計画に沿った研修計画を作成し実施するも、7月・9月に発生したコロナ感染症の影響を受け、一部変更・延期をする形となった。

コロナ禍における対応については、平時からの面会の中止、体調管理・抗原検査の頻回実施等を継続的に実施。9月にユニットよりコロナ感染者が発生するも、早期対応を実施した事でユニット外に感染が拡大する事態を未然に防ぐ事ができた。

稼働状況について、年間を通して退居・入院ともに非常に落ち着いた状態であった。ユニット体制については、新リーダーの起用など大幅な変更を実施し新たな体制の構築に努め、より良いケアの充実を目指した。

1 入居の状況（2022年度）

	入居者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	8	21	29	870	854	98.2
5月	8	22	30	899	886	98.6
6月	8	22	30	870	856	98.4
7月	8	21	29	899	899	100
8月	8	21	29	899	899	100
9月	8	21	29	870	870	100
10月	8	21	29	899	881	98.0
11月	8	22	30	870	843	96.9
12月	8	21	29	899	893	99.3
1月	8	21	29	899	895	99.6
2月	7	22	29	812	807	99.4
3月	7	23	30	899	892	99.2
合計	94	258	352	10,585	10,475	
平均	7.8	21.5	29.3		872.9	99.0

参考 2021年度の平均充足率は95.9%

2 入院の状況（2022年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
延人日（人日）	12	13	14	0	0	0	18	24	0	0	0	0	81

参考 2021年度の入院者数は、延べ24人で、延べ日数は379人日

3 入・退居の状況（2022年度）

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
5	1	0	0	6	3	0	3	0	6

参考 2021年度の入退居は各13件

4 入居者の介護度 (2021 年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合(%)
介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度 3	8	10	10	8	8	8	8	8	8	9	8	9	29.0
介護度 4	14	13	13	14	14	14	14	14	14	13	14	14	46.9
介護度 5	7	7	7	7	7	7	7	8	7	7	7	7	24.1
平均	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.95

参考 2021 年度 平均介護度は 3.87

5 入居者の年齢構成 (2022 年度末現在)

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	0	1	2	4	9	7	4	2	29
割合	0%	3.7%	6.8%	13.8%	31%	24.1%	13.8%	6.8%	100%

2022 年度末の平均年齢は、88.8 歳

参考 2021 年度末の平均年齢は、89.4 歳

6 入居者の入居期間 (2022 年度末現在)

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	計
人数	6	6	3	2	2	3	7	29
割合	20.7%	20.7%	10.4%	6.8%	6.8%	10.4%	24.1%	100%

7 保険者の状況 (2022 年度末現在)

	山科区	東山区	左京区	伏見区	上京区	計
人数	22	4	1	1	1	29
割合	75.8%	13.8%	3.4%	3.4%	3.4%	100%

○研修受講状況 (2022 年度)

施設内研修

4 月	役付職員研修 (2022 年度 事業計画と人材育成等について)	法 人
5 月	熱中症と脱水、日中・夜間緊急時対応	施設内
6 月	食中毒について、日中・夜間緊急時対応	施設内
7 月	尿路感染症・身体的介護技術 *コロナ感染症により延期	施設内
8 月	口腔ケア・身体的介護技術 *コロナ感染症により延期	施設内
9 月	口腔ケアと誤嚥性肺炎について (ごとう歯科)	施設内
10 月	普通救命講習、尿路感染症と排泄ケア、危機管理予測	施設内
11 月	口腔ケアと誤嚥性肺炎 (ごとう歯科) ノロウイルス実践研修、危機管理予測、自衛消防訓練 (日中想定)	施設内
12 月	感染症ゾーニング研修 身体的拘束適正化と虐待について	施設内
1 月	認知症ケアと接遇マナー、身体的拘束適正化と虐待について 褥瘡と体位交換・ポジショニング勉強会	施設内
2 月	法令遵守と高齢者権利擁護、BCP 机上訓練、自衛消防訓練 (夜間想定)	施設内
3 月	ハラスメント研修、認知症ケアと接遇マナー	施設内

施設外研修 (オンライン)

8 月	ユニット管理者研修 (オンデマンド+ZOOM)
9 月	ユニットリーダー研修 (オンデマンド+ZOOM)

○行事実施状況（2022年度）

4月	おやつレク・誕生日レク
5月	ボーリングレク・どら焼き作り・誕生日レク
6月	すみれレク（輪投げ大会・玉入れ・ボーリング）
7月	すいか割りレク（各ユニット）・おやつレク
8月	おやつレク（かき氷・たこ焼き）
9月	敬老レク（各ユニット）・誕生日レク
10月	おやつレク・運動会レク
11月	誕生日レク
12月	クリスマスレク（各ユニット）
1月	誕生日レク・元旦レク・おやつレク
2月	節分レク（各ユニット）・誕生日レク
3月	誕生日レク・おやつレク

○介護課

ユニット独自の特色と更なるサービスの質の向上を目的に、2階ユニットにおいて新たなリーダーを配置した新体制となり、従前以上にコミュニケーションの円滑化を図った。1階においては、9月にコロナ感染症が発生したが、リーダー・委員会の指揮の基、早期対応を実施し事業所内における感染拡大を防いだだけでなく、感染を体験したという経験を活かし、他のユニットの模範となる対応の継続に努めた。また、コロナ禍における家族様との関係性が希薄になってしまう事に対して、電話連絡時やカンファレンス時の会話だけでなく、毎月入居者に寄り添ったレクリエーションを実施し、その様子を SNS や写真の郵送などを積極的に行い関係性の構築にも努めた。

○支援課

毎月定例で入居選考会議を実施し待機者の確保・把握に努め、入所前面接を計画的に行う事で円滑な入退居支援を行った。各部署とのコミュニケーションに努め、円滑な入居者支援に努めた。

○栄養管理課

①栄養ケアマネジメント

定期の体重測定・血液検査を基に各入居者の栄養状態・身体状態の把握に努め、ケアマネジャーと連携し本人や家族様の意向を含めた栄養ケア計画の作成を行った。

②食事の提供について

委託給食会社と協力し、安全かつ衛生的な食事提供を実施する事ができた。

③情報の共有・提供

栄養課として毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、改善点や提供方法等について検討・情報共有を行った。また SNS や運営推進会議を活用し情報発信にも努めた。

○健康管理課

嘱託医・他職種と連携を図り、入居者の身体状況の把握及び健康管理を行う事で異常の早期発見に努め、高齢化・重症化に伴う早期の対応に努めた事で、入院人数・入院日数共に昨年度より減少した。コロナ禍においては感染症対策が強く求められた年度であり、医療職として職員の知識向上を図り、緊急時の対応・感染予防・事故防止に努めた。

2. 在宅サービス部

2022年度は引き続き新型コロナウイルスに翻弄されながら感染予防対策を講じてきたが、デイサービスセンターは7月にクラスターが発生、14日間の事業休止を余儀なくされ収入等に大きくダメージを受けた。ショートステイも新型コロナウイルスによる入退所の停止があり、支援職による調整に迫られた。

ヘルパーステーションは併設デイサービスセンターでのクラスターの影響を受けPPE対応が続き業務量が増加したが3月には過去最高の訪問件数816件を達成。ケアプランセンターに至っては1月に開設以来初の給付稼働率121.4%を達成。サービス付き高齢者向け住宅も高齢化に伴う入退居はあったが、年間を通して平均38室を維持することができた。

以上から、在宅サービス部としては新型コロナウイルスに翻弄されながらも各事業所が連携し、最大限の努力をして大きな実績を残すことができた。今後も各部と情報共有を密にして安定した運営を目指す。

➤ 短期入所施設 きよみず苑（ショートステイ）

2022年度において、相談員2名体制を継続し、受け入れ窓口である支援課と対応する介護現場との一体感を意識した事業所運営に努めた。新規利用の受け入れは28名。90%を超えるリピート率を維持。しかし新型コロナウイルス感染症による入退所停止や一時的な日中人数制限を実施した為、平均稼働率は103.5%となった。

人員配置においては、他のユニットより多く配置をする事で、送迎業務の負担を分散し、細やかな入退所時の対応を行なうことができた。

コロナ感染防止対策として持ち込み感染リスクを考慮し、利用開始時より72時間の居室対応を実施する事で、ユニット内におけるクラスター感染の再発防止に努めた。

1 利用の状況（2022年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4月	12	21	33	300	331	110.3
5月	11	20	31	310	342	110.3
6月	15	19	34	300	321	107.0
7月	11	16	27	310	334	107.7
8月	15	16	31	310	327	105.5
9月	14	17	31	300	331	110.3
10月	14	18	32	310	318	102.6
11月	11	16	27	300	292	97.3
12月	15	17	32	310	302	97.4
1月	11	17	28	310	319	102.9
2月	13	16	29	280	269	96.1
3月	12	15	27	310	291	93.9
合計	156	209	365	3,650	3,777	
平均	13	17.4	30.4			103.5

2022年度 新規利用者 28名
 参考 2021年度 新規利用者 25名 平均稼働率 110.7%

2 介護度別の延利用者数 (2022 年度) (人)

	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	0	9	30	25	147	54	66	331	3.0
5 月	0	9	39	34	141	48	71	342	2.9
6 月	0	9	22	32	138	58	62	321	3.2
7 月	0	14	21	36	140	57	66	334	3.0
8 月	0	9	28	36	118	83	53	327	3.2
9 月	0	6	32	38	131	78	46	331	2.9
10 月	0	3	34	48	100	70	63	318	3.0
11 月	0	0	26	37	110	67	52	292	2.9
12 月	0	0	17	28	130	73	54	302	3.1
1 月	0	0	20	33	119	57	90	319	3.1
2 月	0	0	23	37	123	32	54	269	3.1
3 月	0	0	20	56	114	38	63	291	3.1
合計	0	59	312	440	1,511	715	740	3,777	
平均	0	4.9	26.0	36.7	125.9	59.6	61.7	314.8	3.06

参考 2021 年度 平均介護度 3.1 合計延利用者数 4,041 人

3 利用者の年齢構成 (2022 年度末利用者実績)

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	0	0	4	2	6	7	8	0	27
割合	0%	0%	14.8%	7.5%	22.2%	25.9%	29.6%	0%	100%

4 行事レク実施状況 (2022 年度)

4 月	おやつレク (和菓子)
5 月	*未実施
6 月	すみれレク (おやつレク・ボーリングレク)
7 月	スイカ割りレク
8 月	*未実施
9 月	敬老レク
10 月	運動会レク
11 月	*未実施
12 月	クリスマスレク
1 月	おやつレク
2 月	節分レク
3 月	*未実施

5 研修受講状況 (2022 年度)

4 月	役付職員研修 (2022 年度 事業計画と人材育成等)
5 月	熱中症・脱水勉強会
6 月	食中毒勉強会
9 月	口腔ケアと誤嚥性肺炎①
10 月	尿路感染症と排泄ケア 普通救命講習
11 月	口腔ケアと誤嚥性肺炎② ノロウイルス実践研修
12 月	インフルエンザ・コロナ感染症ゾーニング研修
1 月	認知症ケアと接遇マナー①
2 月	褥瘡予防と体位交換勉強会 法令遵守と高齢者権利擁護
3 月	認知症ケアと接遇マナー② ハラスメント研修

➤ デイサービスセンター きよみず苑

2022年度は春頃から平均利用者数が伸びる傾向があったが、7月ご利用者がデイの帰宅後に新型コロナウイルスを発症され、そこから一気に感染拡大となり併設事業所を含め利用者、職員合せて35名のクラスターが発生。施設内消毒作業や職員復帰も含めて14日間の事業休止を余儀なくされた。その後は独自の受け入れ発熱基準など感染防止対策強化に取り組み、クラスターの再発防止を最優先に事業運営を行った為、目標数値に大きく影響を受ける結果となった。

1 利用の状況 (2022年度)

() 内はサ高住入居者

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
4月	26	61 (21)	557 (223)	21.5 (8.6)
5月	26	64 (23)	602 (249)	23.2 (9.6)
6月	26	64 (24)	586 (230)	22.5 (8.8)
7月	12	57 (23)	261 (111)	10.0 (4.3)
8月	26	61 (24)	548 (208)	20.3 (7.7)
9月	26	68 (27)	584 (244)	22.5 (9.4)
10月	26	67 (26)	569 (252)	21.9 (9.7)
11月	26	64 (26)	558 (255)	21.5 (9.8)
12月	25	65 (27)	517 (217)	20.7 (8.7)
1月	24	65 (27)	527 (224)	22.0 (9.3)
2月	24	65 (27)	542 (248)	22.6 (10.3)
3月	27	62 (26)	595 (284)	22.0 (10.5)
合計	294	763 (301)	6446 (2745)	20.9 (8.9)

参考 2021年度の延利用者数は**6877 (2594)**、1日平均利用者数は**22.2 (8.3)**

2 介護度別の延利用者数 (2022年度)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護1	71	78	78	41	104	111	122	111	91	91	99	86	90.3
介護2	97	117	117	55	95	115	114	110	112	107	115	135	107.4
介護3	266	278	245	105	218	210	191	178	155	171	157	198	197.7
介護4	22	32	27	13	30	23	26	28	20	22	24	17	23.7
介護5	18	34	42	23	44	51	65	79	76	86	93	101	59.3
計	474	539	509	237	491	510	518	506	454	477	488	537	478.3
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	51	55	57	24	50	53	51	52	50	50	48	58	49.9
申請中	32	8	20	0	7	21	0	0	13	0	6	0	8.9
計	83	63	77	24	57	74	51	52	63	50	54	58	58.8
合計	557	602	586	261	548	584	569	558	517	527	542	595	537.2
平均介護度	2.49	2.52	2.59	2.51	2.50	2.43	2.47	2.55	2.55	2.62	2.63	2.66	
稼働率(%)	85.7	92.6	90.2	40.1	81.2	89.8	87.5	85.8	82.7	87.8	90.3	88.1	83.5

参考 2021年度の平均稼働率は、**89.0%**

3 研修受講状況 (2022年度)

4月	役付職員研修 第三者評価受診
5月	熱中症・脱水
6月	食中毒 緊急時対応
7月	
8月	
9月	口腔ケア・誤嚥性肺炎
10月	普通救命講習
11月	感染症
12月	認知症と接遇 身体拘束
1月	認知症と接遇 身体拘束
2月	高齢者権利擁護・法令遵守 BCP 机上訓練
3月	ハラスメント 認知症ケア

4 行事実施状況 (2022年度)

4月	誕生日 第三者評価受診
5月	誕生日
6月	誕生日
7月	誕生日 七夕飾り
8月	誕生日 かき氷
9月	誕生日 敬老会
10月	誕生日
11月	誕生日
12月	誕生日 忘年会(お鍋) 皆勤賞
1月	誕生日
2月	誕生日
3月	誕生日 お花見ドライブ

➤ ヘルパーステーション きよみず苑

2022年度はご利用者の入退院、体調不良、認知症の進行等の影響で特に朝昼夕の定時排泄介助の訪問が増え、結果として月当たりの平均訪問件数が約680件と前年度より大幅に訪問件数が増加した。介護保険外の自費サービスでは居室への食事配膳下膳と服薬確認が増加し、ご利用者全体のADL低下も進んでいる。併設デイサービスや担当ケアマネジャーと常に連携、情報共有し、在宅生活が少しでも長く継続できるように援助を行なった。

1 利用の状況（月別・利用件数）（2022年度） (件)

	総合事業			要介護				総合計
	生活型	介護型	合計	身体介護	生活介護	身体生活	合計	
4月	0	12	12	376	138	15	529	541
5月	0	13	13	473	132	16	621	634
6月	0	14	14	443	137	11	591	605
7月	0	10	10	490	87	7	584	594
8月	0	13	13	558	134	11	703	716
9月	0	13	13	467	139	9	615	628
10月	0	13	13	591	134	10	735	748
11月	0	13	13	604	132	9	745	758
12月	0	12	12	585	113	9	707	719
1月	0	12	12	565	115	6	686	698
2月	0	9	9	569	128	8	705	714
3月	0	9	9	653	146	8	807	816
合計	0	143	143	6374	1535	119	8028	8171

参考 2021年度 総合計数は5897件、身体介護は3918件

2 介護度別の実利用者数（2022年度） (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	2	6	10	9	2	0	29
5月	0	2	6	9	9	2	1	29
6月	0	2	6	10	9	2	1	30
7月	0	2	6	10	8	2	1	29
8月	0	2	8	9	8	2	1	30
9月	0	2	8	8	9	2	1	30
10月	0	2	8	8	8	2	2	30
11月	0	2	8	8	8	2	2	30
12月	0	2	8	8	9	2	2	31
1月	0	2	9	10	9	2	2	34
2月	0	2	9	11	6	2	2	32
3月	0	1	9	11	6	2	2	31
合計	0	23	91	112	98	24	17	365

参考 2021年度の合計（延べ利用者数）は385名

3 介護保険外の利用者数 (2022 年度) (人)

	服薬管理	ラウンジ送迎	配膳下膳	通院	洗濯	自費(家事)	自費(身体)	合計
4月	14	4	13	1	6	4	1	43
5月	14	4	13	0	6	3	2	42
6月	14	4	14	1	8	4	2	47
7月	13	4	15	0	7	3	3	45
8月	13	4	19	0	7	3	4	50
9月	18	2	15	0	6	3	2	46
10月	18	3	12	0	5	1	2	41
11月	19	3	14	0	6	4	2	48
12月	19	3	14	0	6	2	4	48
1月	17	2	16	0	6	3	3	47
2月	18	3	13	0	7	3	3	47
3月	18	2	13	0	7	3	2	45
合計	195	38	171	2	77	36	30	549

参考 2021 年度の合計 (延べ利用者数) は 546 名

4 研修受講状況 (2022 年度)

4月	役付職員研修(2022 年度 事業計画と人材育成等)、第三者評価受診
5月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(脱水症・熱中症)
6月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(食中毒)
7月	
8月	
9月	
11月	感染・褥瘡予防委員会(口腔ケア・誤嚥性肺炎、ノロウイルス)
12月	
1月	サービス向上委員会(認知症と接遇)
2月	サービス向上委員会研修(権利擁護・法令遵守)
3月	サービス向上委員会研修(ハラスメント)

➤ ケアプランセンター きよみず苑

2022年度は新型コロナウイルス感染拡大にて利用者が介護サービス利用自粛の影響でADL状態悪化や事業所クラスターによるサービス調整に加え、上半期は入院や在宅復帰困難者も多く給付管理数も伸び悩んだが、常に給付管理数を意識し、大幅な落ち込みがないよう努めた。その結果、年間を通して100%(月70件)を超える給付稼働率と、1月には過去最大85件の給付管理数を実現し目標を達成する事ができた。

また、利用者に安心して在宅生活を送って頂く支援ができるよう内部や外部研修にも積極的に参加し、自己研鑽を行った。

1 介護度別の給付管理数 (2022年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	28	28	28	28	30	29	32	32	27	27	27	27	343
介護2	20	20	22	23	24	24	25	26	30	30	31	33	308
介護3	20	20	18	18	19	18	16	17	17	18	16	17	214
介護4	3	3	2	3	5	4	4	5	4	5	4	2	44
介護5	1	1	2	3	3	3	4	4	4	5	5	5	40
計	72	72	72	75	81	78	81	84	82	85	83	84	949
平均介護度	2.01	2.01	2.00	2.06	1.85	2.07	2.04	2.08	2.12	2.18	2.14	2.10	2.08

2022年度の給付管理数合計のうち、サ高住件数は301件

参考 2021年度の給付管理数合計748件(うちサ高住数301件) 平均介護度2.16

2 介護予防受託数 (2022年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	19
要支援2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	34
計	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4	5	5	53

参考 2021年受託件数合計41件

3 認定調査件数 (2022年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	1	3	5	3	7	11	2	4	5	5	1	3	50

参考 2021年認定調査件数合計43件

4 研修受講状況 (2022年度)

4月	役付職員研修(法人内)、第三者評価受診
5月	認知症研修(山科区医療・介護研修)、脱水・熱中症研修(法人内) ケアプラン点検研修①(市老協研修)
6月	食中毒研修(法人内)
7月	介護支援専門員研修過程Ⅰ、ケアプラン点検研修②(市老協研修)
9月	介護支援専門員過程Ⅱ
10月	在宅で学ぶ体調不良の対応研修(山科区医療・介護研修)、 介護支援専門員研修過程Ⅱ
11月	BCP作成研修(市老協研修)、ノロウイルス研修(法人内)
12月	身体拘束・虐待防止研修(法人内)
1月	認知症と接遇研修(法人内)
2月	法令遵守：権利擁護・個人情報・プライバシー保護研修(法人内)
3月	ハラスメント研修(法人内)

➤ サービス付き高齢者向け住宅 きよみず苑・京都東

2022年度は入居者の高齢化に伴う退居があり、一時37室まで落ち込む月もあったが年間平均入居室数38件は維持できた。しかしながら7月の併設デイサービスセンターでの新型コロナウイルスクラスターの影響を受け入居者10名の感染や感染拡大対策として一時的にラウンジを閉鎖。お弁当配布など入居者にも不便をかけ介護事業所との同一建物としてのデメリットも経験した。コロナ禍で大きなイベントを開催できない中でも老舗料亭のテイクアウト弁当は昨年度から引き続き4月と11月に実施し入居者から好評を頂いた。

1 入居の状況（月末の契約数）（2022年度）

	入居室数 (月末)	新規 入居室数	退居 室数	入居者数(人)		
				男性	女性	合計
4月	39	2	0	12	32	44
5月	39	0	0	12	32	44
6月	37	0	2	12	30	42
7月	38	1	0	13	31	44
8月	38	0	0	13	31	44
9月	38	1	1	12	32	44
10月	38	1	1	13	32	45
11月	38	0	0	13	32	45
12月	39	2	1	13	33	46
1月	37	1	3	12	30	42
2月	38	1	0	13	31	44
3月	38	0	0	13	31	44

2022年度 平均入居者数 44名、新規入居室数9、退居室数8
 参考 2021年度 平均入居者数 43.3名、新規入居室数7、退居室数9

2 入居者の年齢構成（2022年度末現在）

年齢	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	1	2	8	14	14	5	0	44
割合(%)	0	0	2.3	4.5	18.2	31.8	31.8	11.4	0	100

2022年度末の平均年齢は、88.1歳
 参考 2021年度末の平均年齢は、88歳

3 入居者の介護度（平均介護度は認定者のみで算出、要支援1を0.5 同2を0.8で換算）（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
自立	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	33	6.3
要支援1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	16	3
要支援2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	45	8.5
要介護1	9	9	9	11	11	11	12	12	10	8	10	9	121	22.9
要介護2	13	13	12	12	11	11	12	13	14	12	13	13	149	28.2
要介護3	11	10	9	9	9	9	8	7	9	8	8	9	106	20.1
要介護4	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16	3
要介護5	1	2	2	2	4	4	4	4	4	5	5	5	42	8
合計	44	44	42	44	44	44	45	45	46	42	44	44	528	100
平均介護度	2.05	2.1	2.08	2.03	2.13	2.13	2.08	2.06	2.15	2.23	2.21	2.26	2.13	

参考：2021年度平均介護度は、1.96

4 行事・レクリエーション 実施状況（2022年度）

第1木曜日	たちばな健康体操
第2月曜日	マツヤスーパー買い物（8月まで）
毎週月曜日	イオン移動販売車での「きよみず苑訪問販売」（9/1～）
第4木曜日	映画鑑賞会（ラウンジ）
毎月1回	管理栄養士による特別喫茶

3. 本部管理部

2022年度も栄光会のサービス提供部門である特養サービス部と在宅サービス部の安定した事業運営を支えるため、施設管理課の職員と栄養管理課の職員が東旺苑ときよみず苑の二施設及び各事業所などを日々巡回しながら各部署との情報の共有と連携体制のもと、種々の取り組みを行った。

特に本年度は、栄光会が初めて経験した新型コロナのクラスター発生にともない、施設管理課は介護用品や衛生材料の追加調達に加え職員の勤務変更や各種支援金等の対応など、また栄養管理課では入居者の食事提供場所や食事提供方法の変更などに奔走する状況となり、また一方ではロシアのウクライナ進攻に端を発する世界的な原油・エネルギー高や円安などによる食料品価格や物価の高騰など対応に苦慮した。

➤ 施設管理課

本年度も、人事・経理・財務・保安・保守・営繕において、栄光会全体の部署に関わる担当課として、施設のハード面から人材確保・福利厚生などのソフト面に至るまで各部門の運営が円滑に進むよう種々の取り組みを行った。

○施設維持管理、保安・保守

1 設備等の維持管理業務について

(1) 東旺苑に関しては、建築後 35 年が経過しており、建物及び設備において老朽化が激しく建物については、日々の見廻りにより要修繕箇所を見つけ最小限の修繕により費用負担の軽減を図っている。しかし、10 年以上使用している設備（エアコン 2 台、衣類乾燥機 1 台、スチームコンベクションオーブン 1 台）の修理については修理部品の製造が既に終了となっており本年度に入れ替えを行った。これにより設備の購入費用が増加し、次年度以降もこの様な状況が継続すると予想される。

また、本年度の事業計画に上げていた下記 3 件に関して…

- ① LED 照明工事については、新型コロナウイルス感染拡大により部材及び蛍光灯の納品予定が決まらず前年度の 1 月から工事に着手し本年度 4 月に全ての工事が完了した。建物の屋内・屋外及び上り坂の外灯も全て LED に変更できた。
- ② 今年度 9 月に満 11 年を迎えるリース車両は契約更新せず新車購入により経費の効率化を図った。
- ③ 設置後 20 年が経過しているリフト浴機器については、購入価額が高額なため助成金を申請し本年度 3 月の結果待ちであったが最終的に不採択となり、次年度に入れ替えを実施することとなった。

(2) きよみず苑に関しては、開苑から 8 年が経過し設備関係の LED 照明器具の接触不良による交換を行った。また、毎日頻繁に使用する給湯器、洗濯機、エアコン等の修繕が増加。備品等の経年劣化による修繕も増加が予測されるため、不具合の早期発見・早期修理を心掛けた。

2 日常の営繕業務については、東旺苑、きよみず苑両施設共に日々の巡回により状況を把握し、迅速な対応により修繕費用を最小限に抑えるよう取り組んだ。

*空調機フィルター清掃作業、高所作業などは計画的に実施。

*雑草は前年度に防草シートを張ったことにより余り出なくなったが、年に 1 回程度は草刈りを行い、近隣住民へのイメージアップや地域貢献などに努めた。

3 各施設の防災対策等については、各防火管理者が企画する訓練や研修を行い、非常時における職員の対応力を高めている。きよみず苑では各区域の防火担当責任者が研修担当となり、本年度中に全職員が終わる予定であったが、次年度に引き継ぐ結果となった。2024 年度に策定が完全義務化となる介護事業者の業務継続計画（BCP）は、担当者の主導の下ほぼ完成し、2023 年度に実践訓練を重ねて見直しを行う。今後も災害対策は施設毎ではなく、両施設が連携できるように進める。

*自主防災訓練の実施状況（2022 年度）

実施月	訓練内容	実施施設
10 月	自衛消防訓練(夜間想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
11 月	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東
2 月	自衛消防訓練(夜間想定)	きよみず苑・京都東
3 月	自衛消防訓練(日中想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
	京都市シェイクアウト訓練	全施設
	土砂災害に係る避難訓練(情報収集・伝達訓練)	特別養護老人ホーム東旺苑

○衛生管理関係

職員のメンタル不調予防のための「ストレスチェック」は、11月に対象者全員実施。高ストレス判定は13名で、昨年度より8名減少。面接指導の呼びかけに応じる職員は今年度も全く無く、内容の把握は出来ないが、法人の基本方針に沿った働きやすい職場作りと仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に取り組んだ結果と推測する。

職員の定期健康診断・特殊健康診断等も予定通り実施。労働災害は腰痛2件と転倒1件で、いずれも重大な安全衛生管理責任を問われるものでない。

○人事労務関係

新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、残念ながら法人内での大規模クラスターの発生に対して、感染職員へのイレギュラーな勤務に対する時間管理や各種申請など、個々にフォロー、サポートを実施した。また、小学校休業等対応助成金などの助成を活用し、育児を行う職員の補助も行った。同様に濃厚接触や感染などで出勤できない職員の早期復帰などのサポートを行うとともに、関連する労働局などの手続き等についても職員の生活の維持のため迅速な対応に努めた。

○人材確保

- この数年、職員の在籍状況が法人理念の推進に伴って実を結び安定化傾向となってきた。この一年間の職員の入退職状況は、入職者16名／前年度27名、退職者15名／前年度18名と推移し派遣職員についても看護師の臨時採用で3名発生したが最終的に法人内の派遣職員は年度末現在で0名とすることができた。
- 国の助成金制度「キャリアアップ助成金」について、派遣職員からの正規職員登用2名、非正規職員からの正規職員登用1名、合計3名を申請し228万円を受給。次年度も非正規職員から正規職員登用で現在1名が確定している。
- 新卒採用について、残念ながら本年度は応募に結びつかず0名であった。職員補充について、新卒ではないが本年度2月に参加した就職面接会において中途採用1名が採用決定、入職は次年度5月であるが非正規採用後に正規職員登用のため半年後にキャリアアップ助成金の対象となっている。
- 法人主催の合同研修は、新型コロナウイルス感染防止の観点から本年度においても法人内全事業所一体型の合同研修を休止し、施設単位・事業所単位での小規模研修会に変更し実施した。

5 法人・役付職員研修会の開催状況（2022年度）

開催月	研修内容	講師	参加人数
4月	2022年度事業計画、人事考課と人材育成	統括施設長、各部部長 他	21名

○助成金活用事業

老朽化した東旺苑のリフト浴機器や車両の入替のため積極的に助成金の申請を行ったが、否採択が続いた。

- ①リフト浴機器 丸紅基金社会福祉助成金、日本郵便年賀寄付金分配分
- ②配食車両 公益財団法人みずほ教育福祉財団、京都府遊技業協同組合

○地域貢献

前年度同様に、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、施設独自の地域へ開かれたイベントは施設内のみで実施し、地域自治体が発行する各種催しについては、行動制限がないため規模を縮小して行なわれるようになった。まち美化活動や防災訓練等生活に必要なものに関しては開催され参加している。地域貢献は百々小学校区かぎ預かり事業や配食サービス事業など一部のみとなった。

○経費削減

- 1 本年度当初も 2020 年 1 月より続く新型コロナウイルスの感染拡大により衛生材料等が品薄状態となっていたが、ようやく状況が安定し商品自体はコロナ前と変わらず発注すれば 2~3 日で納品にされるようになった。しかし、本年度は新たな問題が起こりその原因は、2022 年 2 月 24 日にロシアがウクライナに侵攻し戦争が始まったことにより世界情勢が不安定になり、原油高が原因でエネルギー関係（電気料金、ガス料金）が値上がりし、石油を原材料とするビニールやプラスチックで出来ている介護用品（オムツ、パッド）及び衛生材料（アルコール消毒、手袋）も、6 月、9 月、2 月と 1 年間に数回値上がりする物もあり軒並み約 1 割強の値上げとなっている。また、東旺苑において 7 月から 8 月にかけて発生した新型コロナウイルスの大きなクラスターによって、介護用品や衛生材料を通常より多く使用したため前年度より経費が増加した。
東旺苑診療所の医薬品費については、東旺苑、きよみず苑両施設で新型コロナウイルス及びインフルエンザの感染者や濃厚接触者が多く発生したことにより、検査キット・予防投与の薬品代が増加したために、前年度に比べて約 50%以上増加した。
公共料金については、エネルギー高により電気料金が約 500 万円（約 30%以上）、ガス料金は約 80 万円（約 17%以上）増加している。
- 2 人件費に関しては、本年度は派遣職員が前年度に比べ大幅に減少した結果、派遣職員費が約 1,360 万円（約 60%）減少。また介護職員処遇改善支援補助金及び介護職員等ベースアップ等支援加算の新設により人件費が月額 約 50 万円（年間 600 万円）増加したために人件費が前年度に比べ約 130 万円増加した。但し介護職員処遇改善支援補助金及び介護職員等ベースアップ等支援加算分は、同時に収入においても増加している。
- 3 支払手数料に関しては、前年度に派遣職員の大幅な削減を図るため派遣職員から直接雇用への切り替えで紹介手数料において約 380 万円を要したが、今年度についてはその金額は 0 円であり、本年度末現在で派遣職員も 0 名である。

*上記 1 に関しては、自助努力での経費削減は容易ではなく、2 及び 3 に関しては、一時的に支払いは増加したが、その後で十分に経費削減となっている。

➤ 栄養管理課

2022 年度も、東旺苑ときよみず苑の両施設ともに、各部と連携し計画・実行のものについては検証をおこない、現在のサービスを精査しながら、より良い「食・栄養」の提供をご利用者様の「楽しみ」へ発展させるよう努めた。

○栄養管理課全般

- 1 毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、また改善点や食事提供方法などについて検討・情報共有を行い、より質の高い食事の提供を実施することができた。
- 2 月に 1 回のサ高住特別喫茶の企画では、管理栄養士とヘルパーステーションの職員とが協力で行い、更に給食委託会社の職員の協力も得て、季節に応じた特別メニューを手作りで提供し入居者様の楽しみやコミュニケーションの増進に繋げた。サ高住で月一回の特別喫茶の継続を目標にし、毎月 30 名弱の参加者があり定着している。
- 3 嗜好調査や情報発信など
東旺苑、きよみず苑両施設及び配食のご利用者様の声を食事に反映できるよう、嗜好調査を実施した。両施設のフェイスブックへの投稿、きよみず苑運営推進会議への資料提供、家族や外部への情報発信を可能な限り行った。

○東旺苑・配食サービス事業

法人の地域貢献事業の一つで、京都市の委託を受け東旺苑が実施する地域の要介護独居高齢者等への配食サービスに関しては、新規利用者の受入れに努めたが、長年利用されていた方が亡くなるケースも多く安定しない状況が続き、前年度より一日平均 1.4 食の減少となった。次年度も積極的に新規の受入れを継続し、地域の独居高齢者の生活支援や安否確認など地域貢献に積極的に取り組んでいく。

***配食サービスの実施状況（2022年度）**

	要介護 (500円)	同居 (670円)	自立 (750円)	合計
4月	339食	0	0	339食
5月	375食	0	0	375食
6月	290食	0	0	290食
7月	276食	0	0	276食
8月	315食	0	0	315食
9月	308食	0	0	308食
10月	334食	0	0	334食
11月	362食	0	0	362食
12月	364食	0	0	364食
1月	405食	0	0	405食
2月	323食	0	0	323食
3月	338食	0	0	338食
合計	4,029食	0	0	4,029食
1日平均	11.0食	0	0	11.0食

参考 2021年度は、合計 **4,545** 食、1日平均 **12.4** 食

4. 法人事務局

法人事務局として、新型コロナウイルス禍において持ち廻り開催であった理事会・評議員会が、本年度より再開となり円滑な運営に取り組んだ。また人材確保を主に、その他契約更新など本部管理部を補佐しサポートした。

○法人事務

東旺苑の設備機器の維持管理において、緊急時の対応など本部管理部のサポートに取り組んだ。その他新型コロナウイルスにおける対応で介護職員のイレギュラーな勤務が止むを得ず発生した期間、同じく本部管理部と連携し勤怠管理に取り組んだ。法改正に伴う法人内の諸規定の改定については、内容を精査のうえ法人の実情に即した状態での改訂に向け取り組んでいる。

○法人事業広報活動

ホームページや Facebook の運用について、主に人材採用面を中心に本部管理部と連携し求人ページの更新を実施、ハローワークやネットサイトの募集において細かな更新を行った結果、ホームページ・ハローワーク及び福祉人材センターへの掲載から3名、ネットサイトから3名の採用へ繋がった。

○理事会、評議員会等の運営事務

***理事会・評議員会等の開催状況（2022年度）**

5月	監事監査	2021年度 会計、業務監査
	理事会	2021年度 決算報告・事業報告、 2022年度 6月開催の定時評議員会の開催日と議題について
6月	評議員会	2021年度 決算報告・事業報告 他
12月	理事会	2022年度 上半期収支報告・事業報告 他
3月	理事会	2022年度 補正予算
		2023年度 予算・事業計画 他

○助成金活用事業

厚生労働省のキャリアアップ助成金において、派遣及び非正規職員から正規職員に転換の2名分の助成金を申請。次年度においても非正規職員から正規職員への転換で現在1名分の申請を予定。その他、配食車両など各種補助や助成において申請を行うも、残念ながら選考漏れの結果であった。